

編集後記

この1月から井田さんに代わって遊星人編集長を引き継ぐことになりました。井田さんは4年の長期間に渡って名編集長ぶりを発揮され、本当にご苦労様でした。ちなみに本号も実は井田さんの手によるもので、私が実質的に担当するのは次号からになります。

私は井田編集長体制のスタート時に編集幹事として編集作業に携わっていたのですが、2年前に体調を崩して長期入院を余儀なくされ、現在の城野編集幹事に慌しくバトンタッチをしたことが思い出されます。その後すっかり回復し（てしまい？）、編集現場に戻ってはとの井田さんからの誘いもあって今回編集長役を引き受けることになりました。

遊星人は日本語で読める数少ない惑星科学の雑誌として、読者からの評判はかなり良いものと自負しています。専門誌でありながらも、広く知られているべきテーマについて、なるべく一般的な言葉で記述するよう心がけていることが特長の一つです。総合の学であることが特色の惑星科学にあっても専門分化がだんだんと進んでいます。そんな中で開かれた内容を届けるという編集ポリシーをもつ遊星人の役割は、今後ますます重要になるのではないかと考えます。

実際に編集作業にタッチしていると原稿集めやその処理が結構大変な反面、惑星科学の幅広いフィールドをある意味自動的に（否応なく）把握できることは楽しい点です。遊星人は会員の皆さんからの投稿をベースに編集しています。おもしろい研究や話題をこれからもどしどしお寄せください。奥付にリストされているお近くの編集委員が相談に乗ります。どうぞよろしくお願いします。

倉本 圭